

学校教育目標	「出あい ふれあい 学びあい 心がかよう 梅林の丘」 自分を大切にします(知・体) 仲間を大切にします(公・開) 心を大切にします(徳) ○ 問題意識をもち、粘り強く取り組み、自分らしさを発揮できるようにします。 ○ 様々な人とのコミュニケーションを通して、相手の気持ちを考えながら、学び合えるようにします。 ○ 確かな判断をし、行動できるようにします。			
	創立 66 周年 児童生徒数: 496 人	学校長 安達 修久 主な関係校: 浜中学校 小田中学校	副校長 小山内 和正	2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 8

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	浜中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に考える力 ○ 課題を見つける力 ○ 学習計画を立て、見直しをもつ力 ○ 粘り強く考える力 思いや考えを伝える力 ○ 伝えたいことを探す力 ○ 伝えたいことを選ぶ力 ○ 話す力・書く力 (説明、報告、紹介、選択質問等) 受け入れる姿勢 ○ 人の話を聞く力、姿勢 ○ 自分や友達のをよきを見つめる姿勢 ○ 違いを尊重する姿勢	浜中学校 杉田小学校 さわの里小学校 梅林小学校	○ 気持ちよい挨拶をする子ども ○ 自他を大切に子ども ○ 思いや考えを伝え合う子ども ○ 社会の中での協調性 ○ 他者の考えや思いに対する必要性 ○ 基本的な生活習慣をつくる態度 浜中ブロックでは、落ち着いた学校生活と充実した学習活動の土台となる「基本的な生活週間の確立」を重視します。小中の情報交換を行い、児童生徒指導の一体化を図ることで、基本的な生活習慣の確立を目指します。

中期 取組 目標	○ 子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、主体的で対話的な学びを充実させます。 ・課題をもち、学習計画を立て、主体的に学ぶ経験を積み重ねる授業づくりを推進する。 ・自分の考えをもち、伝え合う力を育てる。 ・伝え合うことで自分の考えが広がり深まるよさ、主体的に学ぶよさを実感できるようにする。 ○ まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、人と関わり協働していこうとする力を育てます。 ・「人」「もの」「こと」と関わり、子どもの意見を取り入れ互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。 ○ 日々の観察とデータを活用しながら、子ども一人ひとりの変化をとらえ、学びや生活に生かしていきます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	① 単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。ICTを効果的に活用し、学習計画づくり、めあての確認と振り返り、意見や考えの交流・共有を行う。 ② 考えをもつ時間の確保、書くことを取り入れ、自分の伝えたい気持ちをもつ。国語科の「話す・聞く・話し合う」学習について各学年のねらいを確かめ力をつけていく。 ③ 生活科・総合的な学習の時間を核として、地域の人・もの・ことに触れる単元を計画し、主体的に考えることができるような教育課程編成を行う。
担当 学び推進	
徳 豊かな心	① 子どもたちが自他のよさを認めながら、安心して思いや考えを伝え合えるような道徳科の授業づくりを行う。 ② 学級や学年、たてわり活動を年間を通して計画的に行い、活動を振り返って次の活動にいかす。人の話をよく聞く態度を育て、自他の違いを認識し尊重する気持ちを育てるような取り組みを行う。 ③ 年に1回以上人権研修を行い、職員の人権意識を高める。
担当 たてわり・道徳・人権	
体 健やかな体	① 『安全な学校生活』を学校保健委員会のテーマとし、けがなく安全に過ごせる学校づくりに取り組み、課題の改善を図る。 ② 食育目標、保健目標などを生活目標と関連付けながら設定し、朝会をきっかけとして意識できるようにしていく。 ③ 縄跳びチャレンジとして、子どもの意見を取り入れた集会や週間を計画的に企画するなど継続できるようにする。
担当 体育部	
公開 地域連携	① 地域にある材を職員で共有し、年度初めの単元立ち上げの時に活用すると共に、生活科・総合的な学習の時間の充実を目指した研修を行う。 ② 梅林小の特色として、梅と関わる活動を充実させると共に卒業までに梅に関することが学べるように、各学年の年間計画に梅に関するトピックを入れていく。 ③ 学びや経験がつながる幼保小の交流を計画して実行する。職員同士の交流も計画し、カリキュラム編成や入学前の引継ぎなどスムーズに行えるようにする。
担当 教務・学び	
児童生徒指導	① 授業や学級経営におけるユニバーサルデザインを発信していくために、推進部会を部員の教室で行なうなど、共有できる時間と場所を計画する。 ② 誰にとっても安心、安全な学校生活にするために、「梅林スタンダード」で約束を明確にする。 ③ 児童会活動を中心にあいさつ運動など、子どもの意見を取り入れ、全校で継続的に取り組むことであいさつの習慣化を目指す。
担当 育ち推進	
特別支援教育	① 支援が必要な児童を職員全体で把握し、学校全体で支援を行う。 ② 「育ち」推進部を核として日頃教室でできる子どもの思いに寄り添った支援等を職員で共有するための情報発信をしていく。 ③ ケース会議を特別支援教育コーディネーターを中心に行う。校内での支援の充実を目指したい。
担当 育ち推進	
いじめへの対応	① 月1回以上いじめ防止対策委員会を行い、未然防止、早期発見・対応を迅速に行う。 ② 隔月でいじめ防止研修を実施し、全職員のいじめに対するアンテナを高くすると共に、職員会議等で職員全員で把握できるように情報共有を行う。 ③ 毎日の健康観察や児童アンケートを定期的に行い、些細な変化を見逃さず、児童の困り感等を見つける。学年で共有し、対応していく。
担当 学校いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	① メンター研修では、個人が目標を設定し、授業実践や研修での振り返りを通して、授業力や学級経営力を磨く。研修内容を発信していく。 ② ドライブに情報をアップし、いつでも共有できるようにし、会議時間の短縮、研修や研鑽に努める時間を確保する。ロイロを活用し、学年で教材や資料を共有するなど教材研究を効率的かつ有効に行うことを充実継続したい。
担当 メンター・教務	
a14	a24
担当	
a15	a25
担当	